docomo

SO-02C

クイックスタートガイド

'11.10

詳しい操作説明は、SO-02Cに搭載されている「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00 環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社

Sony Ericsson

1250966122

XPERIA acro '11.10（2版）1250-9661.2

はじめに

「SO-02C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、必ず同梱の「SO-02Cのご利用にあたっての注意事項・安全上／取り扱い上のご注意」および本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末について

- ● SO-02Cは、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ● FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- ● FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- ● FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ● お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ● 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- ● 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ● このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ● 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ● SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- ● 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- ● 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ● SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

SO-02Cの取扱説明書

- ● SO-02Cの操作説明は、本書のほかに、本FOMA端末用アプリケーションの『取扱説明書』で詳しく説明しています。『取扱説明書』アプリでは、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。
  『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で▦▶［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。
  アプリケーションのダウンロードおよびアップデート時には、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
  ※ Wi-Fi機能を利用してダウンロードする場合、パケット通信料はかかりません。
- ● パソコンなどでご覧いただける『取扱説明書』（PDFファイル）は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
  ※ 本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ● SO-02Cに関する重要なお知らせを以下のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
  http://www.sonyericsson.co.jp/support/use_support/product/so-02c/

操作手順の表記について

本書では、操作手順にアイコンなどを使用することにより、簡略化して次のように記載しています。
（例）ホーム画面から▦（アプリアイコン）をタップしてアプリケーション画面を表示し、「時計」をタップして起動する操作の場合

1 ホーム画面で▦▶［時計］をタップする

❖お知らせ
- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なる場合があります。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書では「SO-02C」を「FOMA端末」と表記させていただいています。あらかじめご了承ください。

本体付属品を確認する

- SO-02C本体（保証書、リアカバー SO15含む）

- クイックスタートガイド（本書）
- SO-02Cのご利用にあたっての注意事項
  安全上／取り扱い上のご注意
- 電池パック SO05

- ACアダプタケーブル SO03（保証書含む）

<ACアダプタ>

<microUSBケーブル>

- microSDHCカード（32GB）※（試供品）（取扱説明書含む）

※お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）（取扱説明書含む）

お使いになる前の準備

各部の名称と機能

① ライトセンサー：画面の明るさの自動制御
② 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止
③ 受話口
④ タッチスクリーン
⑤ バックキー：↩（1つ前の操作画面に戻る）
⑥ ホームキー：⌂（ホーム画面に戻る）
⑦ メニューキー：≡（操作状況に応じたメニューを表示）
⑧ 通知LED：充電状態、メールの受信通知、着信通知
⑨ HDMI接続端子（type D）
⑩ 電源キー／画面ロックキー：⏻
⑪ microUSB接続端子
⑫ 赤外線ポート
⑬ ワンセグアンテナ
⑭ 音量キー／ズームキー：◁▷
⑮ カメラキー：📷（カメラの起動、フォト撮影、録画開始／終了）
⑯ 送話口（マイク）
⑰ ストラップホール
⑱ FOMAアンテナ部※1
⑲ スピーカー
⑳ リアカバー※2
㉑ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制／動画撮影時にステレオマイクとして使用
㉒ ヘッドセット接続端子
㉓ GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※1
㉔ 🄵マーク
㉕ カメラレンズ
㉖ フラッシュ／フォトライト

※1 アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
※2 リアカバー裏面のシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。

電池パックの取り付け／取り外し

■ 電池パックを取り付ける

電池パックの取り付け・取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

1 リアカバー側面のミゾに親指の指先（爪）をかけて、リアカバーを矢印の方向へ持ち上げて取り外す

2 電池パックの充電端子の位置を確認して、FOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印の方向へ差し込む

3 リアカバーの向きを確認して、FOMA端末に合わせるように装着し、○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすき間がないことを確認する

■ 電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外し、FOMA端末のくぼみに指先（爪）をかけ、電池パックを矢印の方向に持ち上げて取り外す

❖お知らせ
- 故障や破損の原因となりますので、リアカバー検出スイッチには触れないでください。

ドコモUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が登録されているICカードです。電話機能などをご利用になる場合は、ドコモUIMカードをFOMA端末に取り付ける必要があります。
ドコモUIMカードの取り付け・取り外しは、必ず電源を切って、電池パックを取り外してから行ってください。

■ ドコモUIMカードを取り付ける

1 ドコモUIMカードの金属（IC）部分を下にして、奥までまっすぐ差し込む
- 切り欠き部分を奥側にして、差し込みます。

■ ドコモUIMカードを取り外す

1 ドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべらせるように取り出す

❖お知らせ
- ドコモUIMカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。
- 本FOMA端末ではFOMAカード（青色）はご使用できません。
  FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

microSDカードの取り付け／取り外し

■ microSDカードを取り付ける

microSDカードの取り付け・取り外しは、リアカバーを取り外してから行ってください。

1 microSDカードの挿入方向を確認して、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む
- microSDカードの金属端子面を上にして差し込みます。

❖お知らせ
- 必ずリアカバーを取り付けてからご使用ください。リアカバーを取り付けていないと、microSDカードが認識されません。
- 故障や破損の原因となりますので、リアカバー検出スイッチには触れないでください。
- カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロード、Bluetooth機能をご利用になる場合は、microSDカードを取り付けておく必要があります。

■ microSDカードを取り外す

リアカバーを外す前に、必ずホーム画面で≡を押し、［設定］▶［ストレージ］▶［SDカードのマウント解除］をタップして、ステータスバーに▮が表示され、マウントが解除されたことを確認してください。

1 microSDカードをカチッと音がするまで奥へまっすぐ押し込む

2 microSDカードをゆっくり引き抜く

充電する

お買い上げ時は、FOMA端末の電池は十分に充電された状態ではありません。充電してからご使用ください。
- microUSBケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。

■ ACアダプタを使う

1 付属のmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグの⇜の刻印面を下にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグの⇜の刻印面を上にして、ACアダプタのUSB接続端子に差し込み、ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す

4 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

■ パソコンを使う

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの⇜の刻印面を下にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む
- 本FOMA端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、［スキップ］をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら［キャンセル］を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す

4 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

❖お知らせ
- 充電を開始すると、携帯電話の通知LEDが赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、ホーム画面で≡を押し、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、電池残量が「100%」と表示されます。
- 電源オフ時にACアダプタケーブルを接続して充電を開始すると、操作はできませんが携帯電話の電源がオンになります。

電源を入れる（初期設定）

電源を入れる

1 ⏻を1秒以上押す
- キーロックの解除画面が表示されます。

2 🔒（左）を🔓（右）へドラッグする
- 画面が表示されます。

■ 電源を切る

1 ⏻を1秒以上押す
- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 ［電源を切る］をタップする

3 ［OK］をタップする

画面のバックライトをオンにする

誤動作防止と省電力のため、設定時間を経過すると、本FOMA端末は画面を消灯してキーロック状態になります。次の操作でバックライトを点灯させ、キーロックを解除してください。

1 ⌂、⏻いずれかのボタンを押す
- バックライトが点灯し、キーロックの解除画面が表示されます。

2 🔒（左）を🔓（右）へドラッグする
- 消灯前の画面が表示されます。

❖お知らせ
- バックライト点灯中に、消灯させてキーロックする場合は、⏻を押します。

初期設定を行う

本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、使用する言語や、ワイヤレスネットワーク、オンラインサービスなどを設定したり、連絡先をインポートするセットアップガイドが表示されます。また、後で設定・変更したい場合は、アプリケーション一覧から「設定」または「セットアップガイド」を起動して設定・変更できます。

1 ⏻を1秒以上押す
- 言語を選択する画面が表示されます。

2 ［日本語］▶［完了］をタップする
- 「ようこそ」画面が表示され、機能の使いかたと初期設定を行うことができます。

3 ➡をタップする
- インターネット接続画面が表示されます。［モバイルネットワークまたはWi-Fi］または［Wi-Fiのみ］のどちらかをタップして選択します。

4 ➡をタップする
- ワイヤレスネットワーク画面が表示されます。［ネットワークの検索］をタップして、Wi-Fiネットワークの追加を行います。

5 ➡をタップする
- サービス画面が表示されます。「Google」「Facebook」「Exchange ActiveSync」の設定を行います。
- Googleアカウントを設定しない場合でもFOMA端末をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどの Googleサービスがご利用になれません。

6 ➡をタップする
- 自動更新画面が表示されます。［自動更新する］または［自動更新しない］のどちらかをタップして選択します。

7 ➡をタップする
- 連絡先インポート画面が表示されます。ドコモUIMカードに保存された連絡先がある場合は、ホーム画面で▦▶［電話帳］をタップし、連絡先インポート画面で「連絡先インポート」の［インポート］▶［SIMカード］／［メモリカード］をタップして、保存先を選択▶保存したい連絡先を選択します。

8 ➡▶［完了］をタップする
- ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ
- オンラインサービスの設定では、データ接続が可能な状態であることが必要です。接続状態のステータスアイコンが表示されていることをご確認ください。

ロック機能

第三者による無断使用を防ぐために、「SIMカードロック」「画面ロック」を利用できます。

■ SIMカードをロックする

SIMカードロックは、ドコモUIMカードにPINコードという4～8桁の暗証番号を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないようにロックする機能です。

1 ホーム画面で≡を押し、［設定］▶［現在地情報とセキュリティ］▶［SIMカードロック設定］をタップする

2 ［SIMカードをロック］をタップする

3 PINコードを入力して、［OK］をタップする
- 手順2の「SIMカードをロック」の項目にチェックが入ります。
- SIMカードのロックを解除するには、同様の操作で解除できます。

❖お知らせ
- PINコード入力を3回連続して間違えると、ロックがかかってPINコードが入力できなくなり、8桁のPINロック解除コード（PUKコード）の入力が必要になります。PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカード自体がロックされます。この場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- PINコードは、お買い上げ時の暗証番号をお客様自身で変更できますが、PINロック解除コードは変更できません。
- SIMカードロックを解除しなくても、キーロック解除後のSIMカードロックの解除画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。詳細については、「緊急通報」（P.16）をご確認ください。
- 各暗証番号やSIMカードロックの詳細については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

■ 画面ロック

FOMA端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに、画面のロック解除が必要になるように設定します。画面ロックの解除には、「パターン」／「PIN」／「パスワード」の3つのうちいずれかを入力するように設定できます。

1 ホーム画面で≡を押し、［設定］▶［現在地情報とセキュリティ］をタップする

2 ［画面ロックの設定］をタップする

3 ［パターン］／［PIN］／［パスワード］をタップする

4 画面の指示に従って操作する

❖お知らせ
- 一度設定した画面ロックを無効にするときは、手順2で［画面ロックの変更］をタップし、「パターン」／「PIN」／「パスワード」を入力して［なし］をタップします。
- 画面ロックを解除しなくても、キーロック解除後の画面ロックの解除画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。詳細については、「緊急通報」（P.16）をご確認ください。

基本操作

ハードウェアキー操作

画面下の↩、⌂、≡の各ハードウェアキーの主な操作は次の通りです。

キー	操作
↩ バック	• 直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルを閉じます。 • ソフトウェアキーボードを閉じます。
⌂ ホーム	• ホーム画面に戻ります。 • 1秒以上押すと、最近使用したアプリケーションのウィンドウを開きます。
≡ メニュー	• ホーム画面またはアプリケーションで実行できるメニューを開きます。 • 文字入力時に1秒以上押すと、ソフトウェアキーボードを表示／非表示できます。 • ホーム画面で1秒以上押して、ソフトウェアキーボードを表示させ、任意のキーをタップすると、Google検索が起動します。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン上では、次の操作ができます。
- タップ：画面を軽く触れる
- タッチ：画面を長く触れる
- フリック：画面上を軽くなぞる
- ドラッグ：画面上でタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチ：画面上で親指と人差し指の間隔を開いたり、閉じたりする

■ スクロールする

表示中の画面によっては、上下（左右）にドラッグ／フリックしてページの表示位置をスクロール（移動）できます。

■ ピンチ（拡大／縮小）する

表示中の画面によっては、表示内容をピンチアウト（拡大）したり、ピンチイン（縮小）したりできます。

スクロール　　ピンチアウト／ピンチイン

文字を入力する

本FOMA端末の文字入力方法は、あらかじめ日本語入力の「POBox Touch（日本語）」に設定されています。メッセージの作成や連絡先の登録などで文字入力欄をタップすると、画面にソフトウェアキーボードが表示され、QWERTY、12キー、50音の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて文字を入力できます。

■ ソフトウェアキーボードを切り替える

1 文字入力欄をタップする

- お買い上げ時は、QWERTYキーボードが表示されます。

2 文字種アイコン▣を長くタッチする
- 文字種アイコン▣をタップするごとに、「ひらがな漢字」→「半角英字」→「半角数字」と入力する文字種を切り替えることができます。

3 ▮／▦をタップする

12キーキーボード　　50音キーボード

- 12キーキーボード／50音キーボードに切り替わります。
- 文字入力画面で、文字種アイコン▣を長くタッチすると、🔧と🧩が表示されたり、▦をタップしてQWERTYキーボードに切り替えられます。
  - 🔧をタップすると、POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。
  - 🧩をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示され、［定型文］または［連絡先引用2.3］をタップすると、各プラグインアプリから文字を引用できます。

❖お知らせ
- 入力したかな文字に対して予測変換候補または直変換候補が表示され、入力したい語句をタップして入力できます。
- 文字入力を中断して文字入力前の画面に戻るときは、↩を押します。
- ⌫をタップすると、カーソル位置の前の文字を削除します。
- ☻をタップすると、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時は、絵文字タブも表示されます）。
- 12キーキーボードでは、キーを連続してタップするトグル入力のほかに、キーを上下左右方向へフリックして入力するフリック入力で入力できます。

ホーム画面

ホーム画面は、中央の画面と左右に2つずつの補助画面の5つの画面で構成されています。中央の画面はFOMA端末操作上の初期画面となり、アプリケーションの操作中画面など、どの画面からでも⌂を押してホーム画面に戻ることができます。
お買い上げ時のホーム画面には、主要アプリケーションのショートカット、ウィジェットが割り振られています。ウィジェットやアプリケーションのショートカットは、追加・削除・移動することができます。

① ウィジェット：ステータススイッチ
② 壁紙
③ ショートカット（アプリケーション）
④ ウィジェット：検索
⑤ ホーム画面位置：5つのホーム画面のうちの現在表示位置
⑥ ウィジェット：Timescape™
⑦ ウィジェット：ミュージックプレーヤー
⑧ ウィジェット：写真とムービー
⑨ ウィジェット：デジタル時計
⑩ メディアフォルダ（ギャラリー、ミュージック、FMラジオ）
⑪ アプリケーションボタン
⑫ ウィジェット：メディアショートカット
⑬ ウィジェット：TrackID™

■ ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にフリックすると、隣り合ったホーム画面に移動できます。

■ ホーム画面にショートカットやウィジェットなどを追加する

ホーム画面は、壁紙を変えたり、アプリケーションのショートカットやウィジェットなどを追加／削除／移動したりできます。

1 ホーム画面で≡を押す

2 ［追加］をタップする
- 追加メニューが表示されます。

項目	内容
ショートカット	アプリケーションのショートカットアイコンや、よく電話する連絡先やメールの連絡先などのショートカットアイコンを追加します。
ウィジェット	ウィジェット一覧で追加する項目をタップします。
フォルダ	新しいフォルダを追加します。
壁紙	Sony Ericssonの壁紙／ギャラリー／ライブ壁紙の中から画像を選択して壁紙を変更します。
テーマ	ホーム画面や設定画面の背景の画像をテーマの中から設定します。

❖お知らせ
- ウィジェットやショートカット／フォルダのアイコンを、FOMA端末が振動するまで長くタッチすると、そのままドラッグして移動したり、画面下部に表示されたゴミ箱へドラッグして削除したりできます。

アプリケーション画面

本FOMA端末の各機能をご利用になるには、ホーム画面のショートカットやウィジェットをタップして主な機能を操作できますが、ホーム画面にない機能はアプリケーション一覧画面でアイコンをタップして起動するのが基本操作になります。

■ アプリケーションを起動する

1 ホーム画面で▦をタップする
- アプリケーションの一覧画面が表示されます。

2 左右にフリックして使うアプリケーションのアイコンをタップする

FOMA端末の状態を知る

■ 自分の電話番号を表示する

次の操作で電話番号のほか、電池残量など端末の状態を確認できます。

1 ホーム画面で≡を押し、［設定］をタップする

2 ［端末情報］▶［端末の状態］をタップする
- 「電話番号」欄に電話番号が表示されます。

■ 通知LEDについて

通知LEDの点灯、点滅により、充電を促したり、充電中の充電状況、メッセージやEメールの受信をお知らせしたりします。

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中、電池残量が10%以下であることを示す
赤の点滅	電源ON時に電池残量が起動するのに十分でないことを示す
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	バックライト消灯中、不在着信／新着メッセージ（SMS）／新着Eメールがあることを示す
白の点滅	着信中であることを示す
青の点滅	バックライト消灯中に受信したspモードメールがあることを示す
橙色の点灯	充電中、電池残量が11%～89%であることを示す

■ ステータスバーについて

画面上部のステータスバーには、右側にFOMA端末の状態（ステータス）、左側にメールの新着通知情報などがアイコンで表示されます。

❖お知らせ
- ステータスバーに表示される主なアイコン

ステータスアイコン	
電波状態	Bluetoothデバイスに接続中
国際ローミング中	GPS測位中
圏外	データ同期中
FOMAハイスピード使用可能	機内モード設定中
FOMAハイスピードの送信およびダウンロード中	マナーモード（バイブレーション）に設定中
GPRS使用可能	サウンドOFF（着信音量0）
GPRSデータの送信およびダウンロード中	スピーカーフォンがオン
3G使用可能	マイクをミュートに設定中
3Gデータの送信およびダウンロード中	アラーム設定中
Wi-Fi接続中	電池の状態
AutoIP機能でWi-Fi接続中	充電中
Bluetooth機能ON	ドコモUIMカードロック中、またはドコモUIMカードが未挿入

通知アイコン	
新着Eメールあり	カレンダーの予定あり
新着Gmailあり	楽曲を再生中
新着メッセージ（SMS）あり	ワンセグ起動中
メッセージ（SMS）の配信に問題あり	FMラジオ使用中
新着インスタントメッセージあり	Bluetooth機能の接続要求通知あり
新着エリアメールあり	USB接続中
新着Facebookメッセージあり	HDMI接続中
Facebookへデータアップロード中	赤外線通信中
Facebookへデータアップロード完了	データ通信無効
データを受信／ダウンロード	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
データを送信／アップロード	VPN接続中
microSDカードを取り外すためにマウント解除（読み書き不可）	VPN未接続
microSDカードが取り外されている状態	Connected devicesにてメディアサーバー実行中
インストール完了（Androidマーケットなどでアプリケーションをインストールする際）	Connected devicesにてメディアサーバーへ接続要求通知あり
ソフトウェア更新通知あり、または更新中	赤色：エラーメッセージ 黄色：注意メッセージ
アップデート通知（インストール済みマーケットアプリのアップデートが通知される際）	同期に問題あり
おサイフケータイ ロック中	セットアップガイド未確認
発信中、着信中、通話中	その他の（表示されていない）通知あり
Bluetoothデバイスで通話中	Wi-Fiテザリング設定中
通話保留中	USBテザリング設定中
不在着信あり	Wi-FiテザリングおよびUSBテザリング設定中
留守番電話あり	

■ 通知パネルを開く

ステータスバーに通知アイコンが表示されている場合は、ステータスバーを下へドラッグして通知パネルを開き、表示アイコンの内容を確認できます。

■ マナーモードを設定する

着信音量を0に設定します。本FOMA端末では、マナーモード設定中でも着信音、操作音、各種通知音以外の音（動画再生、音楽再生、アラームなど）は、消音されませんのでご注意ください。

1 ⓞを1秒以上押す

2 ［マナーモード］をタップする

■ 機内モードを設定する

電話、インターネット接続（メールの送受信を含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。

1 ⓞを1秒以上押す

2 ［機内モード］をタップする

■ FOMA端末のリセット

FOMA端末の各種設定のリセット、およびGoogleアカウントやダウンロードしたアプリケーションを削除して、お買い上げ時の状態に戻すことができます。リセットを行うと、FOMA端末は自動的に再起動して初期設定画面を表示します。
FOMA端末のリセットの詳細については、『取扱説明書』アプリまたは『取扱説明書（PDFファイル）』をご覧ください。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 電話番号を入力して、［発信］をタップする
- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして消すことができます。

■ 電話を終了する

1 ［通話終了］をタップする

■ 通話音量を変える

1 通話中にを押して調節する

■ 通話中の操作

保留	通話中にを押して、［保留］をタップします。保留の解除は、保留中に［保留解除］をタップします。 • 保留を設定するには、「キャッチホン」の契約が必要です。
連絡先	通話中に連絡先のリストを表示します。
スピーカー	スピーカーフォンのオン／オフを設定します。 • 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
ミュート	通話中のマイク消音のオン／オフを設定します。
ダイヤルキー	追加したい電話番号を入力して電話をかけることができます。 • 最初の通話は自動的に保留中になります。 • 通話を追加するには、「キャッチホン」の契約が必要です。
通話終了	通話を終了します。

❖注意
- 聴力を損なわないために、スピーカーフォンがオンになっている状態でFOMA端末を耳に当てないでください。

緊急通報

FOMA端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 緊急電話番号を入力して、［発信］をタップする
- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして消すことができます。

❖注意
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

■ ドコモUIMカードロック中の緊急通報

1 ［緊急通報］をタップする

2 緊急電話番号を入力して、［通話］をタップする
- 電話番号の入力を間違えた場合は、をタップして消すことができます。

❖注意
- 日本国内では、PINコードの入力画面またはPINコードロック（PUKロック）中には、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

電話を受ける

1 着信時に（左）を（右）へドラッグする
- 画面ロック中、キーロック中でもアイコンが表示され、同様の操作で応答できます。

2 通話を終了するには、［通話終了］をタップする

■ 着信を拒否する

1 着信時に（右）を（左）へドラッグする

発着信履歴を表示する

通話履歴には、不在着信（）、音声着信（）、およびダイヤル発信（）が時系列で一覧表示されます。一覧の右端のをタップして電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 画面下部の［通話履歴］をタップする
- 通話履歴の一覧が表示されます。
- 履歴の名前をタップすると、連絡先の確認やメッセージ（SMS）の送信などを行うことができます。

■ 発着信履歴を削除する

1 ホーム画面で［電話］▶［通話履歴］をタップする

2 を押して、［通話履歴を全件削除］をタップする

❖お知らせ
- 通話履歴の一覧で、削除したい履歴を長くタッチして、［通話履歴から削除］をタップすると、1件のみ削除できます。

電話帳

1 ホーム画面で▶［電話帳］をタップする
- 電話帳の連絡先一覧画面が表示されます。初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示され、ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存された連絡先をインポートしたり、事前にアカウント設定されているソーシャルネットワークサービス（SNS）の連絡先と同期したりすることができます。［完了］をタップして、連絡先一覧画面を表示します。連絡先一覧画面では、登録内容に応じた情報を表示・利用できます。

① 連絡先検索フィールド
② 連絡先に登録された写真
③ 新しい連絡先の追加アイコン
④ 自分の連絡先
⑤ 連絡先に登録された名前
⑥ 名前を五十音順、アルファベット順などで検索するバー
⑦ Google トーク（チャット）のオンライン状況
⑧ ソーシャルネットワークサービス（SNS）のステータス更新情報
⑨ 画面切替（電話／通話履歴／連絡先／お気に入り）

■ 連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面でを押し、［連絡先を削除］をタップして、削除する連絡先にチェックを入れる
- すべての連絡先を削除するには［すべて選択］をタップします。

2 ［削除］▶［OK］をタップする

❖お知らせ
- 連絡先一覧画面で削除する連絡先に長くタッチして、［連絡先を削除］▶［OK］をタップしても削除できます。

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で連絡先データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面でをタップし、［電話帳コピーツール］をタップする
- 初めてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

2

タブ	操作
エクスポート※	［開始］をタップする • docomoアカウントに保存されている連絡先データがmicroSDカードに保存されます。
インポート※	インポートしたいファイルをタップして、［上書き］／［追加］をタップする • インポートした連絡先データは、docomoアカウントに保存されます。
docomoアカウントへコピー	コピーしたいGoogleアカウントをタップして、［上書き］／［追加］をタップする • コピーした連絡先データは、docomoアカウントに保存されます。 • 「本体」に登録した連絡先データも同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

※ microSDカード（インポートでは連絡先データを保存したもの）をFOMA端末に取り付けてから操作します。

❖お知らせ
- 他のFOMA端末の連絡先項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- グループ情報はインポートできません。
- 連絡先をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 連絡先をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。

メール／インターネット

spモードメール

spモードをご契約いただいている場合は、iモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）でEメールの送受信ができます。

1 ホーム画面で［spモードメール］をタップする
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ spモードメールを送信する

1 ホーム画面で［spモードメール］をタップする
- 受信トレイなどが表示されます。新規メールを作成するには、［新規メール］をタップします。

2 メールの作成が終わったらを押して［送信］をタップする

メッセージ（SMS）

相手の電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字で160文字）までのメッセージを送受信できます。

■ メッセージ（SMS）を作成・送信する

1 ホーム画面で▶［メッセージ］をタップする

2 ［新規作成］をタップする

3 ［宛先を追加］をタップし、連絡先の一覧から送信する相手をタップしてチェックを入れ、［完了］をタップする

4 「メッセージを作成」欄をタップして、メール本文を入力する

5 ［送信］をタップする

■ 受信したメッセージ（SMS）を読む

メッセージ（SMS）を受信すると、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で▶［メッセージ］をタップする

2 相手先のリストから読みたい相手をタップする
- 受信メッセージが表示されます。

Eメール

一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントまたはExchange ActiveSyncアカウントを設定して、Eメールを送受信できます。

■ Eメールを送信する

1 ホーム画面で▶［Eメール］をタップする
- 受信トレイなどが表示されます。新規メールを作成するには、画面に表示される［新規作成］をタップします。

2 メールの作成が終わったら［送信］をタップする

❖お知らせ
- Eメールアカウントを設定していない場合は、Eメールセットアップウィザードが表示され、画面の指示に従って設定します。複数のEメールアカウントを設定することができます。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、FOMA端末でGmailを使用してEメールの送受信を利用できます。

■ Gmailを送信する

1 ホーム画面で▶［Gmail］をタップする
- 受信トレイなどが表示されます。新規メールを作成するには、を押して［新規作成］をタップします。

2 メールの作成が終わったら、画面上部のをタップする

❖お知らせ
- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウントセットアップウィザードが表示され、画面の指示に従って設定します。複数のGoogleアカウントを設定することができます。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」とは、気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

■ 緊急速報「エリアメール」を受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。

■ 緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で▶［エリアメール］をタップする

2 を押して［設定］をタップする

❖お知らせ
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 専用の着信音は10秒間鳴動します。

ブラウザ

ブラウザを使ってインターネットへ接続します。インターネットへ接続するためのプロバイダ（ISP）やアクセスポイントなどの登録・設定は、通常使う接続先（spモード）があらかじめ設定されています。

※ spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ インターネットに接続する

1 ホーム画面で［ブラウザ］をタップする
- ブラウザが起動すると、お買い上げ時のホームページに設定されているドコモマーケットが表示されます。
- ウェブページ表示中にを押すと、新しいウィンドウを開くことができるなど、便利な機能を利用できます。

Wi-Fiネットワークに接続する

Wi-Fi機能を利用すると、自宅、社内ネットワーク、公衆無線LANサービスなどの無線アクセスポイントに接続できます。
- Wi-FiがONのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

1 ホーム画面でを押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする
- Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 ［Wi-Fi］にチェックを入れる
- 自動的に利用可能なWi-Fiネットワークをスキャンして、一覧を表示します。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップする
- セキュリティ保護されているネットワークを選択した場合は、パスワードを入力して［接続］をタップします。

テザリング機能を利用する

■ ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

本FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに5台まで同時に接続することができます。

1 ホーム画面でを押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［テザリングとポータブルホットスポット］▶［ポータブルWi-Fiアクセスポイント設定］をタップする

2 ［ネットワークSSID］名を入力する

3 ［セキュリティ］フィールドをタップし、セキュリティタイプにチェックを入れる

4 必要に応じてセキュリティ情報を入力し、［保存］をタップする

■ Wi-Fiテザリング機能を利用する

1 ホーム画面でを押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［テザリングとポータブルホットスポット］をタップする

2 ［ポータブルWi-Fiアクセスポイント］をタップし、注意事項の詳細を確認して［OK］をタップする

■ USBテザリング機能を利用する

本FOMA端末を付属のmicroUSBケーブルと接続し、モデムとして利用することで、USB対応機器をインターネットに接続することができます。
- FOMA端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する際は、USB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」に設定しておく必要があります。

1 ホーム画面でを押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［テザリングとポータブルホットスポット］をタップする

2 FOMA端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する
- 本FOMA端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、［スキップ］をタップしてください。

3 ［USB テザリング］をタップし、注意事項の詳細を確認して［OK］をタップする

❖お知らせ
- Wi-FiテザリングとUSBテザリングは同時に利用できます。
- テザリングご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

その他

オプション品・関連機器のご紹介

本FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。
- **リアカバー SO15**
- **電池パック SO05**
- **ACアダプタケーブル SO03**
- **FOMA 補助充電アダプタ 02**※
- **キャリングケース 02**

※ 本FOMA端末を充電するには、付属のmicroUSBケーブルが必要です。

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
• 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.5
• 電池切れになっていませんか。	P.7

■ 充電

充電ができない（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）	
• 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.5
• ACアダプタケーブルの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。	P.7
• ACアダプタケーブルとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.7
• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	－

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
• 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。	－
• 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、ACアダプタケーブルが熱くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－
電池の使用時間が短い	
• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	－
• 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	－
• 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	－
電源断・再起動が起きる	
• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	－
本体上のキーを押しても動作しない	
• 画面ロックを設定していませんか。	P.10
ドコモUIMカードが認識されない	
• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.6
時計がずれる	
• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動」時刻設定（ネットワーク自動設定）が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	－

■ 通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない	
• SIMカードロックを設定していませんか。	P.9
• 機内モードを設定していませんか。	P.16

通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。	P.5 P.6 P.8
• 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態はを表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	－
• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	－

■ おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない	
• 電池パックを取り外すと、おサイフケータイ ロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。	－
• おサイフケータイ ロック設定をしていませんか。	－
• FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	P.4

エラーメッセージ

■ 通信サービスなし

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- ドコモUIMカードが正しく機能していません。
ドコモUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本FOMA端末にあると考えられます。この場合は、本書表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
ドコモUIMカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

■ メモリ不足です

空き容量がありません。次の操作で不要なアプリケーションを削除して容量を確保してください。
- ホーム画面でを押し、［設定］▶［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップします。削除したいアプリケーションをタップして、［アンインストール］▶［OK］▶［OK］をタップします。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末用アプリケーションの『取扱説明書』の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

● **保証期間内は**
- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

● **以下の場合は、修理できないことがあります。**
- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・HDMI接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

● **保証期間が過ぎたときは**
ご要望により有料修理いたします。

● **部品の保有期間は**
FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

● **FOMA端末および付属品の改造はおやめください。**
- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● **FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。**
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● **各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**

● **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。**

● **FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。**
使用箇所：スピーカー、受話口部

● **FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。**

■ メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖ご注意
- モバイルネットワーク接続を使用してFOMA端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前にFOMA端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖お知らせ
- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/ をご覧ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-02Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」を長くタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-02Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」を長くタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。